

神奈川県立中原支援学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

|      |   |
|------|---|
| 会議名称 | 令和6年度 中原支援学校 第1回 学校運営協議会  |
| 開催日時 | 令和6年6月12日(水) 9:40 ~ 11:30   |
| 開催場所 | 本校 支援ルーム  |
| 出席者  | 委員:9名 (本校校長1名含む)<br>事務局:8名  |
| 会議資料 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・グランドデザイン</li> <li>・学校教育計画(令和6年度~令和9年度)</li> <li>・令和6年度 学校評価報告書(目標設定)</li> <li>・令和5年度 学校評価報告書(実施結果)</li> </ul>   |
| 議事録  | <p>【今年度の学校運営協議会について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容、年間スケジュール、部会委員案承認</li> </ul> <p>【今年度の取組について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長の経営方針について承認</li> </ul> <p>【協議】</p> <p>&lt;地域とのつながり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でいかに子どもたちを育てていくか。切れ目のない支援はとても大事。</li> <li>・本日実施していた井田小との交流が良かった。</li> <li>・子どもの頃から接する機会はこれからの社会に必要。</li> <li>・昔は学習も宿泊も一緒に行っていた。お互いがそこにある。それ以上、それ以下でもなかった。交流によってこれが普通になってくれることが良い。</li> <li>・「交流」はキーワード。子どもはパターンやルーティーンで日常を過ごしているが社会ではそうはいかない。交流で刺激を受けてほしい。パターンからの脱却。障害について交流だけで100%障害のことがわかるわけではないがちょっとしたことでも知ってほしいと思う。</li> <li>・センター的機能についてお互いがお互いを知る。中原って?どんな子が通っているとかなどどんなことをしているとかを知ってもらうことが大切。</li> </ul> <p>&lt;学習指導&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTについては興味がある人はかなりできるのではないかな。どのように使っていくのか。社会ではICTなくしての生活は成り立たなくなっている。危ないところもあるが使い方を教えていく必要性がある。ICTを身近に。今後の就労はICT関係が増えていくと思うので重要。</li> </ul> <p>&lt;学校管理&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットについては、医療ケアもあり大変だと思う。企業では労働衛生の観点からヒヤリハットからリスクマネジメントという考え方になっている。もしかしたらリスクがあるのではないかなという部分を点数化し、リスク度を考えていく手法。一歩進んだ事故防止の参考になるのではないかな。</li> <li>・教職員が生き生きと納得して仕事をしているか。疲れている先生のもとでは生徒は生き生きできないと思う。私たちにできることがあればいい。</li> <li>・特別支援学校に求められている役割は多岐にわたり、それぞれのニーズに応えていく大変さがある。</li> </ul> |